

スペシャルパートナー

半導体の技術で 夢を、未来をカタチに。



KYO-SENSE パートナー



主催：京都学生祭典実行委員会

共催：京都学生祭典組織委員会
(京都府 / 京都市 / 京都商工会議所 / 一般社団法人京都経済同友会
公益財団法人 大学コンソーシアム京都)

特別協力：平安神宮

協力：文化庁 地域文化創生本部

後援：京都府教育委員会 / 京都市教育委員会 / 公益社団法人 京都青年会議所
公益社団法人 京都市観光協会 / 公益社団法人京都市保育園連盟
公益社団法人 京都市私立幼稚園協会 / 公益財団法人京都和装産業振興財団
京都商店連盟 / 京都新聞 / J:COM 京都みやびじょん / K B S 京都

第18回京都学生祭典 報告パンフレット

—Kyoto Intercollegiate Festa



〒606-8216
京都市下京区西洞院通塩小路下ル キャンパスプラザ京都内
Mail: festa@consortium.or.jp
公式 HP: <https://www.kyoto-gakuseisaiten.com/>



ゆか 夢縁る。

「京都学生祭典で夢を叶える。」「夢は京都学生祭典に出ること。」

そんなお祭りになることはもちろん、京都学生祭典を通じて夢を見つけたり、広げたり、伝えたり、思い出したり、繋いだり・・・と、「夢」を介して多くの人が交わり刺激し、熱気に満ちて楽しめるお祭りとなりたい。京都学生祭典で自分の夢の可能性を追求・発信して欲しい。さらに、他者の夢にも触れて、元気や勇気をもらって欲しい。

また、京都学生祭典の活動を通じて、京都の多くの人と人、人と場所を繋いでいきたい。小さなきっかけも大切にして切れることなくずっと続けていきたい。そんなきっかけを京都学生祭典が生んでいき、京都をひとつに結んでいきたい。たくさんの出会いが、繋がりが溢れる空間を創りたい。そんな想いを込め、このテーマを選びました。

第 18 回京都学生祭典は
夢につながり、夢でつながり、夢がつながる。
そんなお祭りとなることを目指しました。

目次

- 03 ご挨拶
- 05 京都学生祭典とは
- 07 年間活動紹介
- 09 コロナ禍での取り組み
- 13 オンラインイベント
 - 学生らしさ溢れる
 - 京都を盛り上げる
 - 京都学生祭典ならではの
- 17 第 18 回京都学生祭典オンライン本祭
 - 開催概要と実績
 - 各企画内容詳細
 - 出演団体一覧
- 27 広報活動
- 28 メディア掲載実績・広報制作物一覧
- 29 オール京都での取り組み
- 30 運営体制・大学コンソーシアム京都加盟大学一覧
- 31 実行委員名簿・所属大学
- 32 実行委員インタビュー
- 33 協賛企業・個人サポーター一覧



私たちの「夢」は、京都の新たな伝統
「京都四大祭り」 を目指して

京都府知事

西脇 隆俊



第18回京都学生祭典が無事開催され、フィナーレを迎えることができたことを、共催者の一人として大変嬉しく思います。

今年は例年と異なり、コロナ禍により、史上初となる、オンラインでの開催として企画内容を大幅に一新することになりました。

多くの大学において学園祭が中止される中、学生たちが高い志で力を結集して祭典をオンライン化し、感染拡大防止策も万全に行ったことで、一人の感染者を出すこともなく、祭典を成功させることができました。

視聴者の皆さまにおかれましては、画面を通じて、京都をはじめ全国の学生の熱いパワーを受け取っていただき、おひとりおひとりの心に残る祭典になったことと思います。

結びに、この学生祭典を実現に導いていただいた川端実行委員長をはじめ、実行委員会の皆さん、ご支援いただいた関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。

京都商工会議所 副会頭

土井 伸宏



今年の京都学生祭典は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、初のオンラインでの開催となりましたが、大きなトラブルも無く無事に終えることができました。京都をはじめ、全国の皆さまに笑顔と感動を届けるため、初めての試みに戸惑いながらも試行錯誤を重ね、最後までやり遂げられた実行委員の皆さまに敬意を表するとともに、本祭典の運営にご尽力を頂きました関係者の皆さま、そして何よりも本祭典をご視聴いただきました多くの皆さまに、心より感謝申し上げます。

これからも京都学生祭典が、子供から大人まで誰からも愛され、夢と希望に満ち溢れた祭として、ますます飛躍されますことを期待しています。そして、これからも学生たちへの変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 理事長

黒坂 光



第18回京都学生祭典は「夢、縁（ゆか）る。」をテーマに掲げ、1年間をかけて創り上げてきました。京都学生祭典の新たな歴史を刻む第一歩として、初となるオンライン開催に取り組んできた本祭は、普段は参加できない京都以外の地域にお住まいの方からも多くの皆様に参加（視聴）いただき、大盛況のうちに終えることができました。厳しい現実と向き合いながら準備に励み、

感動を創出された実行委員をはじめとする学生の皆さんに敬意を表するとともに、ご視聴いただきました皆様および関係各位に厚く御礼申し上げます。

京都学生祭典は「大学のまち京都・学生のまち京都」のさらなる発展に貢献し、京都に集う学生一人ひとりの成長に繋がる場となるよう、さらなる飛躍をめざしてまいります。

今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

京都市長

門川 大作



「大学のまち京都・学生のまち京都」の象徴であり、「京都四大祭り」を目指す、京都が全国に、世界に誇るお祭りである京都学生祭典。

第18回となる今回は、コロナ禍の中、学生の皆さんが工夫を凝らし、努力を重ね、京都のみならず、全国の皆様楽しんでもらえるよう、多彩な催しに果敢に取り組まれました。学生さんたちの新たな挑戦に深く敬意を表します。

また、学生さんたちの試みに共感していただき、開催に御協力いただきました全ての皆様に、共催メンバーの一人として心から御礼申し上げます。

今回のコロナ禍における前例のない中での様々な経験は、必ずや努力を重ねてこられた学生さんの更なる成長に繋がるとともに、京都学生祭典の一層の飛躍に向けて、かけがえのない糧となることと確信しております。

今後とも、本市として、学生、大学、経済界、地域の皆様としっかりと連携し、オール京都で挑戦を重ねてまいりますので、引き続き、皆様の御理解、御協力をお願い申し上げます。

一般社団法人 京都経済同友会 代表幹事

大倉 治彦



社会に大きなダメージを与えたコロナ禍は、学生達のキャンパスライフに大きな影響を与えました。

そのなかで第18回京都学生祭典は、オンライン開催という史上初の試みで開催することを決定し、わずか半年という期間で学生達の創意工夫によってゼロから作り上げられました。初の試みで至らぬ点も多くあったかと存じますが、ご視聴いただきました皆様、またご支援・ご協力をいただきました方々に深く御礼を申し上げます。

今回のかけがえのない経験を学生祭典の歴史に加えることで、次回第19回京都学生祭典は更なる進化を遂げるものと確信しております。来年度、新たなステージに突入する学生祭典の開催にご期待ください。

今後とも変わらぬ温かいご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

第18回京都学生祭典企画検討委員会 委員長

木村 光博



第18回京都学生祭典が、去る10月11日（日）にバーチャル形式で開催されました。昨年の秋に、準備委員会が発足し、前年との引継ぎも順調に進み、例年よりパワーアップされた企画やその進捗に大いに期待を寄せていたところ、コロナが襲ってきました。祭典の全面中止も議論にあがる中、苦渋の選択としてこのバーチャル開催が決定しました。

最後までリアルでの開催を夢見て模索し続けていた学生諸君の心中を察すると本当に胸が痛みます。

しかし、そのコロナ禍にあっても、産官学が一体となったオール京都の温かいご支援やご指導を賜り、無事祭典の開催が出来ましたこと心より御礼申し上げます。

どうか、来るべき20周年に向け、いかなる環境下になろうとも、京の四大祭りを目指す夢のあるこの京都学生祭典に、引き続きのお力添えを賜りますことを切にお願い申し上げます。誠にありがとうございました。

実行委員長

川端 悠輔



「考える」ことを大事に、常により良いカタチを模索し続けようと思った今年は、挑戦と試行錯誤の連続でした。そして、今年は新型コロナウイルスの影響により、京都学生祭典史上初のオンラインでの開催となりました。思い通りにいかないこともたくさんありましたが、数多くの方に楽しんでいただくことを第一に、今年しか、自分たちにしかできないお祭りを創り上げることができました。私たちを信じ、多大なるご支援とご協力を賜りました皆さまに心より感謝申し上げます。

副実行委員長

共田 桃菜



思い通りにいかないこと、諦めざるを得ないことが多く悔しい1年間でしたが、だからこそ見えてくることも多くありました。京都学生祭典とは何か、私たちが最も大切にすべきことは何か、真剣に向き合い考え直すきっかけになったと感じています。

これまで京都学生祭典を想い、愛し、ご支援、ご協力くださった皆さまに心より感謝申し上げます。これからの京都学生祭典にもどうぞご期待ください。

副実行委員長

金田 玲奈



これまでの常識や慣習に囚われず積極的に新しいものを取り込んでいく1年でした。例年とは違う形に戸惑い、試行錯誤を繰り返しながらも新しいことに挑戦していくことに期待感を抱いていました。当初に思い描いていた形とは異なる形となりましたが、今年のオンライン開催によって京都学生祭典にはまだまだ可能性があることを証明できたのではないのでしょうか。最後になりましたが、京都学生祭典にご支援、ご協力いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。

副実行委員長

正覚 裕輔



「新型コロナウイルス」この言葉に尽きる1年間でした。何をすることも「コロナ、コロナ」で潰されそうな1年でもありました。18回が発足した1年前に想い描いた形、それとは全くかけ離れた1年間とはなりましたが、それでもこんな状況だからこそ創れたもの、得られたものもありました。「夢、縁（ゆか）る。」のテーマのもと、こんな状況でも多くの人に夢を与えたい。少しでもそれが実現できたのであれば僕は幸せです。

企画運営部長 佐々木 康助

18日目にして初めての形の本祭となりましたが、18年間京都学生祭典が築き上げてきた多くの方々との縁を活かして、「オンラインでも見て・参加して楽しむことのできる企画」を立案し、多くの方に楽しんでいただけたと感じております。1年間、ご支援ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

警備部長 河上 千奈美

警備部は、本祭に向けて視聴者、出演者、関係者すべての方々安心して楽しんでいただけるように日々活動して参りました。オンライン開催となり、活動が制限されながらも当日は生配信に伴う警備活動を行い、今年度も事故なく本祭を終えることができました。京都学生祭典を支えてくださったすべての皆さまに心より感謝申し上げます。

広報部長 中川 かれん

広報部は、京都学生祭典の活動をより多くの皆さまに知っていただくべく日々活動して参りました。今年は例年の広報の形から大きく方針を変更し、マスクケースや本祭りフレットなど新たな広報物を作成し、SNSの活用にも注力しました。京都学生祭典を応援して下さったすべての皆さま、本当にありがとうございました。今後とも京都学生祭典をどうぞよろしく願い申し上げます。

営業部長 加藤 はるか

営業部では、企業様やご支援して下さる方々と京都学生祭典の架け橋となれるよう1年間活動して参りました。前例のない状況下での活動の中、ご支援くださる皆さまからの激励のお言葉や温かい応援に何度も力を頂きました。京都学生祭典を愛し、支え、応援して下さったすべての方に心より感謝申し上げます。今後とも京都学生祭典をどうぞよろしく願いいたします。

年間交流部長 詫間 捷史

年間交流部は、1年間を通じて地域の方々や留学生と交流を図る部署です。今年は新型コロナウイルスの影響を受け例年通りの交流ができないうちで、チラシやオンライン会議ツールを活用し、皆さまの温かいご協力のもと、これまでとは異なる方法で交流をすることができました。1年間京都学生祭典にかかわって下さった皆さま、ありがとうございました。

おどり普及部長 竹内 詠菜

例年とは違う、オンライン開催という新しい開催形態でしたが、見て下さった皆さまの夢のきっかけとなれたら幸いです。これからはおどり普及部は、京都学生祭典から生まれた「京炎 そでふれ!」という創作おどりを通じて、京都を盛り上げ、新しい学生文化を全国・世界に発信することを目標に活動していきます。

総務部長 永井 千尋

総務部は実行委員を支える部署として、実行委員一人ひとりとの関わり合いを大切に活動して参りました。未曾有の状況の中、実行委員を支えること、新実行委員を集めることの困難に直面しながらも無事にお祭りを開催することができました。多大なるご支援、ご協力をいただきました地域の皆さま、大学関係者の皆さまそして各種専門委員会構成員の皆さまに心より感謝申し上げます。今後とも京都学生祭典を何卒よろしく願い申し上げます。

開 京都学生祭典とは

京都学生祭典とは、2003年から毎年10月に平安神宮前・岡崎プロムナード一帯にて繰り広げられ、来場者数が10万人を超える一大イベントです。人口の1割を学生が占める学生のまち・京都で学ぶ大学生だからできる、学生プロデュースのお祭り。企画の立案や運営、当日の会場警備から協賛獲得のための営業活動やチラシ作成などの広報活動まで、お祭り開催にかかるすべてのことを学生が主体となって行っています。企業・大学・行政そして地域との連携を深めながら、京都中から愛され続けるお祭りを目指しています。京都学生祭典当日はおどりや音楽をはじめ、食やスポーツ、アートなど毎年様々な催しで10万人以上の観客を魅了します。

京都学生祭典は、学生のまち・京都だからこそできるお祭りの形を追求し続けます。

京炎 そでふれ！

京炎 そでふれ！とは、第3回京都学生祭典より誕生した京都学生祭典オリジナルの創作おどりです。見るだけでなく、参加して楽しめるようなお祭りを目指そうという想いから京炎 そでふれ！が生まれました。京都らしい曲・振り・衣装をもとに、四竹を手に持って踊るおどりで、京都市内の大学生を中心に子どもから大人まで、誰もが好きなジャンルで踊ることができます。

「京炎」には「学生の燃えるような想いを京都から全国に発信したい」という願いが込められており、「共演」「競演」という意味もあります。「そでふれ」は、「袖触れ合うも多生の縁」「friend」、そして涙を象徴する「そで」をおどりで「振り払う」ことが由来であり、おどりを通して人々の交流を願ったネーミングとなっています。

現在は、大学ごとに「京炎 そでふれ！ホストチーム」と呼ばれる12のチームがあり、約1,000人の大学生が所属するまで大きくなりました。

京都を盛り上げ、新しい学生文化を全国・世界へ発信していこうと日々活動しています！



京炎 そでふれ！の3本柱

スペシャルバージョン

曲・振り・衣装全てに京都らしさがふんだんに盛り込まれた京炎 そでふれ！を象徴するおどりです。衣装は着物の一種である留袖をリメイクして使用しており、一着一着が手作りです。それぞれ異なる柄になっています。



簡単バージョン

京炎 そでふれ！スペシャルバージョンを老若男女問わず誰でも踊れるように、簡単にしたおどりです。京都学生祭典の最後を飾るおどりでもあり、来場者も一緒に踊ることでその場にいる人全員がおどりを通じてひとつになれます。



オリジナル

京炎 そでふれ！ホストチームがその年ごとに作るオリジナルのおどりです。おどり手1,000人、12チームがそれぞれ自分の考える「京都らしさ」を追求することで、さらに京炎 そでふれ！が奥深いものとなっていきます。



活動理念

1. 京都を活気づけ、感動・笑顔を創出する

私たちの活動を通じて、世代に関係なく京都で過ごす人々が出会い交わるきっかけを作りたい。そしてその場にいる人全員が心温まる気持ちを抱き、同じときを過ごしてほしい。多くの方々と関わり支えられ活動している私たちだからこそ、元気・喜びを与えられるような存在となることを目指します。



2. 京都の一員として、地域社会との繋がりを尊重する

私たちの活動は地域社会（企業・大学・行政・地域）の理解と協力があって初めて行うことができます。そのような信頼関係は、一朝一夕で築くことはできません。だからこそ、地域社会との日々の交流を大切に、その積み重ねによって、京都学生祭典が京都の地で末永く続くお祭りとして定着できるようになると考えています。



3. 京都で学び、地域社会と共に魅力を広く発信する

京都学生祭典を開催するには、主体となって活動する学生が地域社会と数々の交渉を重ねていく必要があります。幾度にも及ぶ困難を乗り越え、様々な経験や出会いの中で学びや自己実現の機会に恵まれます。その中で学生が生み出す魅力、京都の魅力を地域社会と共に多くの人に届けていきます。

これまでの歩み

第1回
「めっちゃ音楽！めっちゃ響都」
京都学生祭典の誕生。
当時実行委員だった倉木麻衣さんが平安神宮でライブを実施。

第9回
「深・京都学生祭典」
東日本大震災への復興・支援を目的としたチャリティー企画「『京縁』～届け！京都の想い～」を開催。



第3回
「イベントから祭へ」
創作おどり「京炎 そでふれ！」の誕生。
平安神宮内で約4,000人にて総おどりを実施。

第17回
「京都から挑み、ともに新時代へ。」
年齢・性別・運動神経にかかわらず誰もが楽しめる「ゆるスポーツ」など、より多様な方々に楽しんでいただきました。

京炎みこし

京炎みこしは、古くから日本の伝統として地域に受け継がれているみこしに、学生のまち・京都が生み出した京都学生祭典という新たな力を加え、京都の活性化を目指したいという想いから創られました。また、京都で学ぶ学生と市民の安寧への願いを京炎みこしにのせ、担ぐことによりその想いを伝え、受け継いでいきます。



年間活動紹介

京都学生祭典では、10月に開催する本祭へ向けた準備だけでなく、年間を通して様々な活動を行っています。京都学生祭典より生まれた創作おどり「京炎 そでふれ!」の普及活動や、お世話になっている地域の方々との交流活動、更には京都学生祭典をより多くの方に知ってもらうための広報活動、独自の環境への取り組み「KYO-SENSE活動」などその内容は多岐にわたります。

出前教室・おどり披露

出前教室

京都学生祭典オリジナルの創作おどり「京炎 そでふれ!」の振りを、実際に小・中学校などの教育機関にお伺いの上、振付指導させていただいております。

今年は京都市内の6つの小・中学校で子どもたちとともに踊ることができ、出前教室を通して振りを覚えた子どもたちが、運動会などの様々な学校行事で京炎 そでふれ!のおどりを披露してくださいました。また、お伺いしていない学校の子供たちにも踊っていただいたり、京都府外の学校からも京炎 そでふれ!についてのお問い合わせを頂いたりするなど、広まりを実感しました。

おどり披露

年間を通して、地域のイベントや、児童館、福祉施設など、様々な場所で京炎 そでふれ!のおどりを披露しています。

今年は、「京都市成人の日記念式典」や平安神宮で行われた「映画『嘘八百 京町ロワイヤル』大ヒット祈願イベント」でもおどりを披露させていただきました。

京炎 そでふれ!のおどりの振りを、おどりを見ていただいたお客様にレクチャーする時間を設けて一緒に踊る機会を創出するなど、観客を巻き込んだパフォーマンスを行い、多くの方々とおどりの楽しさを共有することができました。



地域交流活動

京都学生祭典を、京都中の方々から愛され、地域に根付くお祭りにするべく、年間を通して地域の方々との交流を深めています。

地域の安全を守るため、毎月1回ずつ、実行委員が普段の活動場所としてお世話になっている梅逕学区と、本祭の開催場所としてお世話になっている岡崎地域の夜間パトロールに参加しています。2月より、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け参加を自粛していますが、参加時には地域の方々との交流を深めながら、地域貢献に繋がっています。他にも、夏には地域のお祭り、冬には餅つき大会に参加し運営のお手伝いをしています。

今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地域のお祭りや行事が中止となってしまいましたが、直接会うことはできなくても、地域との繋がりを大切に、コロナ禍でもできる方法で絶えず交流を行って参りました。



広報活動

京都学生祭典の活動内容をもっと多くの方に知ってもらうため、京都中の街頭で京都学生祭典の広報物を配布したり、広報物配架のご協力をお願いしたりするなどの活動を行なっています。今年はリーフレットやポスターに加え、オリジナルマスクケースも配布・配架し、より多くの方の目に届き、興味を引く広報活動を展開することを目指しました。また、各種SNSでの情報発信も年間を通して欠かさず行い、結果としてたくさんの方に本祭を楽しんでいただくことができました。



研修会

京都学生祭典実行委員会の組織力向上のため、毎年様々な研修を実施しています。実行委員会の活動のために必要となる知識を学んだり、実行委員同士で議論する場を作るなど、多岐にわたる研修を行っています。また、実行委員会内での研修に加え、京都学生祭典以外で学生が運営しているお祭りの学生実行委員も交えた研修も行っています。全国から集まった学生と交流や議論を重ねることで普段とは違った価値観にふれることができました。今年度は新型コロナウイルスの影響で対面での研修はほとんど行えませんでした。オンライン会議ツールを利用した研修活動を行いました。



国際交流活動

例年、国際交流活動として京都学生祭典本祭や地域のイベントで留学生の方と一緒にブース運営を行っています。

昨年度の本祭では、海外からの来場者を対象に国際インフォメーションブースを運営し、お祭りを楽しんでいただけるようご案内しました。

今年はオンライン会議ツールを用いて、留学生の方と新しい形での交流を試みました。日本に留学予定の各国の学生と交流することができ、コロナ禍でも国際色を忘れない1年間となりました。



環境活動

京都学生祭典では、「学生でも今日から始められる環境への取り組み」という意味がある「KYO-SENSE」をテーマに、年間を通して環境活動に積極的に取り組んでいます。

例年では、清掃活動や打ち水を行ったり、本祭の食ブースで使用するすべての食器にリユース食器を使用したりするほか、プラスチックの使用を削減したり印刷する紙の量を減らしたりするなど、環境にやさしい取り組みを行っています。

今年は新型コロナウイルスの影響を受けすべての活動を行うことはできませんでしたが、今後も様々な活動を通して環境へやさしい取り組みを続けて参ります。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

京都学生祭典はSDGsを応援します。

コロナ禍での取り組み

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言下においても、各実行委員は自身が在籍する大学の課外活動方針を遵守し、積極的にオンラインでの活動を実施いたしました。また、対面での活動を再開するにあたっては、徹底した感染防止対策を講じて参りました。ガイドラインの作成や日頃の活動において、ウイルス学や公衆衛生学の専門家にご意見を頂戴し、実行委員ならびに出演団体の感染防止対策に最大限取り組みました。

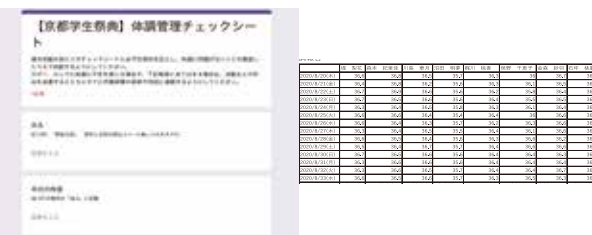
徹底した感染防止対策



オンラインでの活動
 新型コロナウイルス感染症が拡大してきた3月より、実行委員同士の対面での活動を自粛しオンラインでの活動を積極的に実施しました。会議などはZoomなどを活用したビデオ会議での実施を推奨し、直接会わずとも活動できる環境作りに取り組みました。



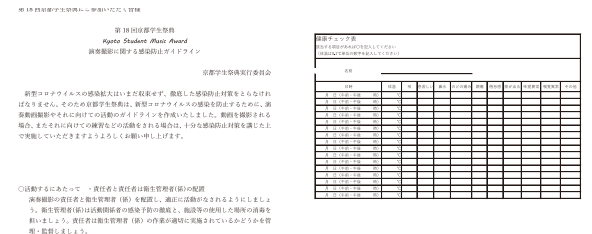
マスクの着用、手指消毒・手洗いの徹底
 普段の活動時はもちろん、本祭当日も実行委員のマスク・フェイスシールドの着用、こまめな手洗いと手指消毒、アクリル板の設置、室内の人数制限等、クラスターが発生しないよう徹底的な感染防止対策に取り組みました。



日常的な体調確認と情報の共有
 各実行委員による日常的な検温報告と健康チェックに加え、活動の前後にも実行委員の体調報告を徹底しました。更に、実行委員が屋内外で対面形式で活動する際には、事前に活動申請書の提出をすることで実行委員同士での活動場所や日時、活動人数を共有いたしました。万が一、活動時に感染が確認された場合でも情報の収集・提供を可能にしました。



3密（密閉・密集・密接）を避ける
 室内での活動時においても常時換気を行い、過度に人が密集しないよう人数の制限を設けました。また、可能な場合はオンラインでの参加を呼びかけるなど、密となる環境にならないことを心がけました。



出演団体に対する感染対策の呼びかけ
 本祭企画に参加するためにパフォーマンス動画を撮影される団体に、専門家の意見を交えて作成した「撮影ガイドライン」を遵守した上で撮影を行うよう呼びかけました。

作成したガイドライン

(※一部抜粋)

WOW!どりパフォーマンス、Kyoto Student Music Awardにご出演いただく団体に向けて、パフォーマンス動画を撮影する際のガイドラインを専門家の意見を踏まえて作成しました。なお、このガイドラインは私たち実行委員の活動にも適用し、新型コロナウイルス感染防止に努めました。以下、ガイドラインの一部をご紹介します。

- 活動するにあたって
 - ・責任者と衛生管理者(係)の配置
 演奏撮影の責任者と衛生管理者(係)を配置し、適正に活動がなされるようにしましょう。衛生管理者(係)は活動関係者の感染予防の徹底と、施設等の使用した場所の消毒を担いましょう。責任者は衛生管理者(係)の作業が適切に実施されているかどうかを管理・監督しましょう。
 - ・常に人と人との距離は最低2mとる
 - ・手指消毒、手洗いの徹底 (参考:厚生労働省HP <https://youtu.be/Eph4Jmz244A>)
 会場入退出時に手指消毒を行い、こまめに手洗いを行ってください。
 - ・広い会場の用意
 基本的には屋内での活動になるので、密を避けるために広い会場を用意しましょう。
 - ・スタジオの換気の徹底
 使用したい時間より長くスタジオを借り、前の使用者がいる場合は15分程の換気をししましょう。
 - ・参加者の情報把握 (Kyoto Student Music Award演奏撮影に関する感染防止ガイドライン)
- 活動中の注意点
 - ・密集するおどりの振りを変更する
 身体的接触 ハイタッチ等は禁止。
 - ・パフォーマンス中に声を出さない
 飛沫感染を防ぐ必要があります。動画撮影とは別で掛け声のみを個々人で録音し、後ほど合成する等してください。
 - ・道具類の共有は一切しない
 直接的な接触、または物体の表面を介しての間接的な接触により接触感染のリスクがあります。また、意図せぬ道具の取り違いなどないように、各自持ち物の管理を徹底しましょう。
 (WOW!どりパフォーマンス パフォーマンス撮影に関する感染防止ガイドライン)

学生に向けた呼びかけ

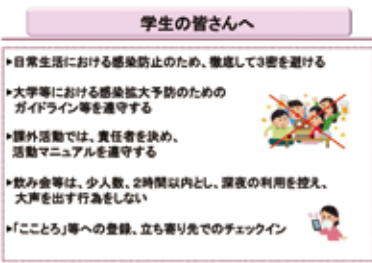
京都の学生団体を代表して全国の学生に向けた感染予防の呼びかけを行いました。



京都学生広報部との呼びかけ
 4月1日に京都市役所にて京都の学生および全国の学生へ向け、新型コロナウイルス感染拡大防止の注意喚起を促す呼びかけを行いました。京都の学生団体を代表して京都学生祭典実行委員会と京都学生広報部が情報発信を行い、その様子が京都市のYouTubeにて公開されています。



京都府との呼びかけ
 10月5日には西脇隆俊知事とともに学生に向けて新型コロナウイルスの感染予防を呼びかけました。その様子が京都府のYouTubeにて公開され、10月6日発行の京都新聞・朝日新聞にも掲載されました。京都学生祭典オンライン本祭当日にも感染予防の呼びかけを行い、感染防止対策に対する積極的な姿勢を示しました。



WEB 版春の合同新歓祭

【実施期間】4月8日～5月31日
【参加団体数】169団体



おうちで祭典時間

【実施期間】4月26日～7月3日

京都を中心に活動する多くの学生団体・サークルとともに、大規模な新入生歓迎イベントをオンラインで開催しました。

専用 YouTube チャンネルでは、学生団体・サークルの PR 動画を集約し発信をしました。HP 上には特設ページを開設し、サークル選別に役立つ団体情報を掲載しました。Zoom やインスタライブを使用したオンライン説明会を実施し、オンライン授業が続いていた新入生にとって貴重な先輩大学生との交流の場となりました。

日本エデュバイト協会とのコラボ企画「教えて！先輩～おうちで夢や将来を語ろう～」では、SNS で事前に募集した新入生からの質問やお悩みをテーマに先輩大学生がトークを繰り広げました。

新型コロナウイルスの影響で、例年通りの新歓活動ができず困っている学生団体・サークルと、新生活のスタートに不安を抱いている新入生のために、直接会うことはできなくても、「学生のまち・京都」の学生同士が繋がる場所を創出することができました。

緊急事態宣言が発令された4月。自宅で過ごす時間が増えた大学生に向けて外出自粛を促すとともに、「おうち時間」を充実させるヒントとなるような企画を数多く実施しました。



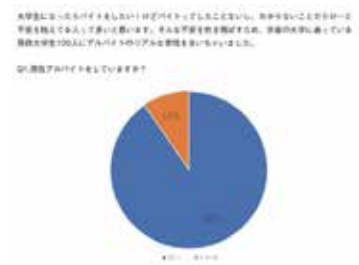
#祭典リレー

Instagram のストーリーズ機能を用いてシェアできる、京都のおすすめのお店や自粛期間が終わったらやりたいことを記入する京都学生祭典オリジナル画像を作成しました。お笑い芸人であるネイビーズアフロの皆川勇氣さんにもご参加いただくなど、多くの人のもとへ届けられた企画となりました。



先輩大学生に聞いてみた

「大学生のカバンの中身」をはじめ、新入生なら誰もが疑問に思う大学生活のあれこれを集約し、Twitter で発信しました。また、対面授業が再開してからの大学生活への期待が膨らむ「大学周辺のおすすめご飯屋さんまとめ」を公開しました。他にも大学生になってよく使う言葉の紹介など、計3つのテーマで京都の大学生の定番を集約しました。



実行委員 100 人に聞いてみた！

実行委員 100 人にインタビューをし、その結果をまとめた特集記事を掲載しました。大学生のアルバイトや恋愛のリアルな事情を発信し、注目を集めました。



おうちで〇〇やってみた！

実行委員がおうちでできる様々なことに挑戦するシリーズ企画。「オンライン会議や飲み会で使えるおすすめアイスブレイク」「女子大フリートーク！」など計4本の動画を公開しました。



#そでふれつなぎ

京炎そでふれ！スペシャルバージョンを踊った動画をアップし、リレーのように繋いでいく企画。開始から1か月足らずで100名以上の方にご参加いただきました。

おうち時間川柳

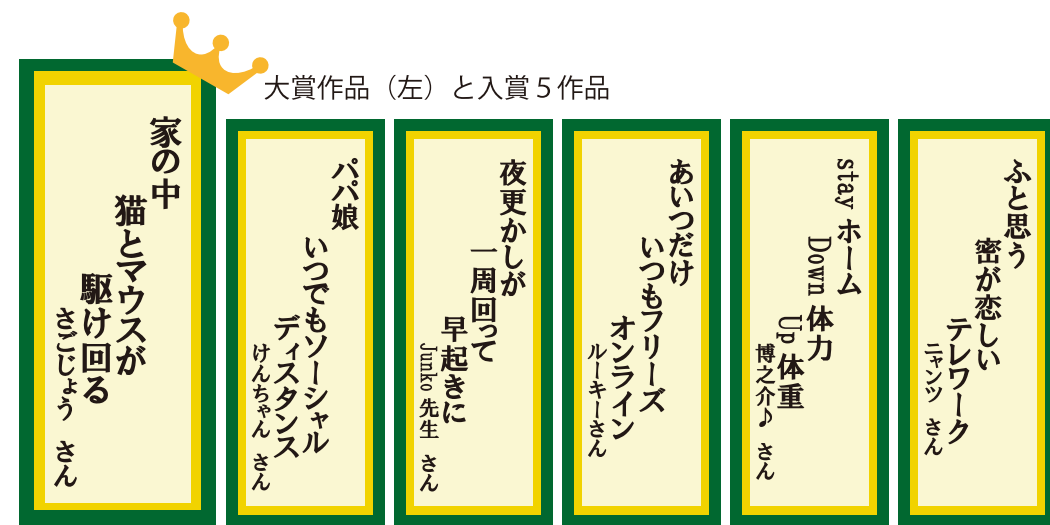
【募集期間】8月26日～9月30日
【応募数】487件

テレワークの推奨や不要不急の外出自粛によって、自宅で過ごす時間が多かった今年。そんな「おうち時間」で感じたことや、気がついた新たな発見を川柳という形で表現していただくべく、「おうち時間川柳」と称した川柳のコンテストを開催いたしました。

老若男女問わず幅広い世代の方からご応募いただき、9月19日付の日本経済新聞にて本コンテストについて取り上げていただくなど、多くの方から反響をいただきました。

本祭 YouTube Live にて大賞・入賞作品を発表し、入賞者には景品を贈呈しました。

コロナ禍の中でも、前を向いて強く生きる皆さまの声や、辛いことをあえて面白おかしく表現して笑いに変える作品に実行委員もとても励まされました。



オンライン留学生交流会



留学生交流会を今年はオンラインで行いました。クイズ形式でのスラング紹介や、京都の観光スポット、簡単に作れる郷土料理の紹介を行い、各国の文化や風習を知ることができました。

また、例年の留学生交流会ではできない、京都に留学予定ではあるが現在は海外に在住している留学生にも参加していただくことができ、国境を越えて京都学生祭典の活動を知ってもらう機会となりました。

チラシを通じた繋がり

コロナ禍で直接的な地域の方々との交流が難しい状況であったため、これまで以外の方法でも交流できないかと思案し、地域の夏祭り特集したチラシを作成しました。普段からお世話になっている地域の方々に夏祭りの起源や特徴をインタビューして記事を書かせていただきました。たくさんの方にご協力をいただき子どもたちや、地域の方々にも楽しんでいただけるチラシが完成しました。



私たちは、京都学生祭典の認知度向上と本祭の周知を目的とし、毎年数回、プレイベントと称してイベントを本祭前に実施しています。これまでは、京都の繁華街でフラッシュモブを実施したり、学生向けの屋外イベントを実施したりと、様々な形で京都学生祭典の魅力を発信していましたが、今年は新型コロナウイルスの影響に鑑み、すべてのイベントを“完全オンライン”で実施しました。

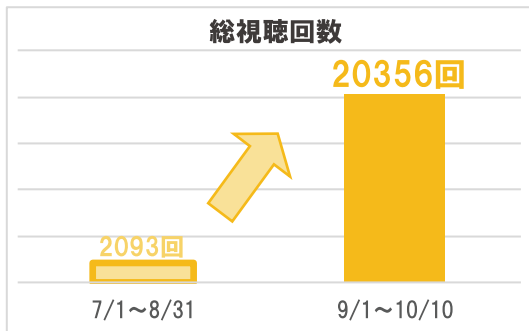
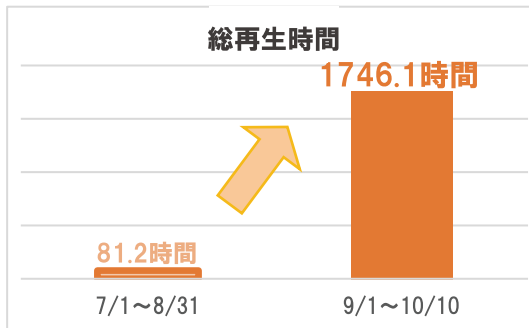
今年は、Twitter や Instagram、HP 等を活かして実施した「参加型」イベントと、様々なジャンルの動画を YouTube で発信し、動画を見て楽しんでいただく「視聴型」イベントの大きく2つに分類される、盛りだくさんのイベントを発信しました。

京都の魅力、そして京都で学び躍動する学生の魅力を詰め込んだバラエティ豊かなイベントの数々を、今年はお家でたくさんの方にお楽しみいただきました。

イベント実施期間実績（実施前との比較）

総再生時間：約 **1,746 時間**（約 22 倍）

総視聴回数：のべ **20,356 回**（約 10 倍）



なぞなぞみてみ隊

「京都学生祭典実行委員会をもっと多くの人に親んでもらえる団体にしたい。」そんな思いからスタートしたシリーズ企画「なぞなぞみてみ隊」では、誰もが一度は疑問に感じたことがある「なんで？」を実行委員が体を張って調査しました。「朝焼肉、夜パンの食生活は成立するか」、「女性が言う『もういいよ』の真相は？」、「きのこの山派をたけのこの里派に1週間かけて変えられるのか」など、計5本の動画を公開。“しょうもないけど面白い”企画が魅力となり、シリーズ累計の視聴回数は1,700回を超え、主に若者層の人気を集めました。



【恐怖!? 繰り返される話】
(調査テーマ)
何度も同じ話をすると、人はどんな反応をするのか?!



【このアラームで人生変わる、、、?】
(調査テーマ)
朝イライラしないiPhoneのアラーム音とは?!



【食生活に革命を】
(調査テーマ)
朝に焼肉、夜にパンを食べても生活できるのか?!



【女性のもういいよを説明せよ!】
(調査テーマ)
女性が言う「もういいよ」の真相は?!



【洗脳?きのこ派をたけのこ派に】
(調査テーマ)
1週間できのこの山派をたけのこの里派にできるのか?!

各動画の視聴はこちらから! →



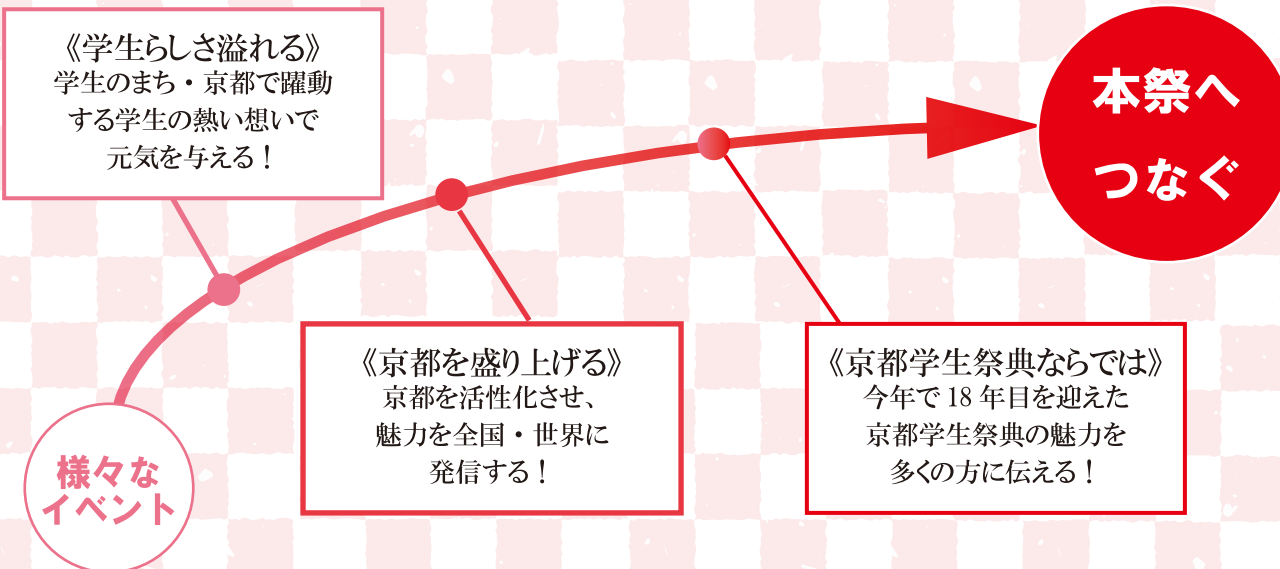
大学対抗! クイズ大会



京都学生祭典実行委員会は京都中の様々な大学に通う学生によって構成されています。その実行委員が、京都大学、京都女子大学、立命館大学、同志社&同志社女子大学、平安女学院大学の5チームに分かれ、クイズで対決しました。

クイズの問題はすべてテーマが「京都」になっており、問題を解きながら京都の魅力やマメ知識を知っていただけます。

京都の大学生はもちろん、京都以外に住んでいる学生や、クイズ好きの方など、誰もが京都の魅力を感じながら楽しめる動画となりました。



実施企画一覧

学生らしさ溢れる企画 (p.14)

- ・なぞなぞみてみ隊
- ・大学対抗! クイズ大会

京都を盛り上げる企画 (p.15)

- ・フォトコンテスト「#京写真の祭典」
- ・京都で輝く学生の「夢」インタビュー

京都学生祭典ならではの企画 (p.16)

- ・沿革動画「京都学生祭典のあゆみ」
- ・京炎 そでふれ! PR 動画

京都を盛り上げる

フォトコンテスト「#京写真の祭典」

【応募期間】8月13日～9月22日

【応募数】712件

世界有数の観光都市“京都”が新型コロナウイルスの影響で大打撃を受ける中、京都学生祭典の存在を広報しつつ、活動拠点である京都の魅力も全国に発信する企画として考案されたフォトコンテスト。「また見たい・誰かに見せたい京都の風景」を募集テーマとし、InstagramとTwitter上で約1ヶ月半の間、ハッシュタグ「#京写真の祭典」を付けて投稿してもらう方法で写真を募集しました。

京都府内の方はもちろん、府外の方や公式のアカウントの方からの投稿もいただけるなど、予想を超える反響をいただきました。たくさんの素晴らしい写真の中から大賞1作品と入賞5作品を厳選し、第18回京都学生祭典本祭当日に結果発表を行いました。

【大賞】



〈撮影者〉
れもん*さん (@wakamono_subete)
〈撮影地〉
平等院鳳凰堂 (宇治市)

【入賞】



〈撮影者〉
masarulotus1969さん
(@masarulotus1969)
〈撮影地〉
嵐山公園 (京都市 右京区)



〈撮影者〉
Shotaさん
(@shota.mebakuro)
〈撮影地〉
嵐山公園 (京都市 右京区)



〈撮影者〉
さわこ / へちよさん
〈撮影地〉
清水寺 (京都市 東山区)



〈撮影者〉
yasuo611さん
(@yasuo611)
〈撮影地〉
由良川橋梁 (宮津市)



〈撮影者〉
Naokiさん
(@nao_photogra)
〈撮影地〉
八坂神社 (京都市 東山区)

京都で輝く学生の「夢」インタビュー

“学生のまち・京都”で活躍する学生団体へのインタビュー動画を公開しました。

インタビューを行ったのは、オリジナルのカレーレシピ本を出版している「京大カレー部」、京都の商店街を活性化するために音楽ライブの企画・運営を行う「商店街ライブ実行委員会」、Webサイト「コトカレー」などを通じて“学生のまち・京都”の魅力を発信する「京都学生広報部」の3団体。各団体の日々の活動内容や、コロナ禍での活動について、そして第18回京都学生祭典のテーマ「夢、縁る。」にちなみ、活動を通して抱いた夢や想いをインタビューし、京都の学生の生の声を動画でお届けしました。



京都学生祭典ならではの

沿革動画「京都学生祭典のあゆみ」



今年で18回目を迎える京都学生祭典をより深く知ってもらうべく、第1回から第18回に至るまでの京都学生祭典のあゆみを、以下の4部構成でまとめました。

- ・黎明期 (第1回～第5回)
「京炎 そでふれ!」、「京炎みこし」、「KSMA」などのメインコンテンツが誕生。
- ・挑戦期 (第6回～第11回)
留学生との交流や東日本大震災復興支援活動など外部との繋がりが増えていった時期。
- ・成長期 (第12回～第15回)
ギネス世界記録への挑戦や、元実行委員の倉木麻衣さんをお招きしてのステージ企画などを実施し、祭典の規模が更に大きなものに。
- ・発展期 (第16回～第18回)
最新の技術を使用した企画や、オンラインでの開催などさらなる発展を目指す。

その時期の特徴的な取り組みを写真や動画で振り返るとともに、歴代の実行委員長のインタビューも織り交ぜながら京都学生祭典の歴史を紹介しました。

京炎 そでふれ! PR 動画



京都学生祭典の人気コンテンツ、「京炎 そでふれ!」のPR動画を作成しました。

第3回京都学生祭典で誕生したオリジナル創作おどり「京炎 そでふれ!」は、「見るだけでなく、参加して楽しめるようなお祭りを創りたい」という想いから生まれました。18回目を迎えた今年も、多くの実行委員やおどり手たちが、京炎 そでふれ!を通して京都を盛り上げ、新しい学生文化を全国・世界へ発信していこうと日々活動しています。

本動画では、そんなそでふれに込められている意味や、おどり・衣装の特徴、京都の大学生によって構成される12のホストチームについてなど、そでふれのすべてを紹介しています。

そでふれにかかわるすべての学生の熱い想いが詰まったPR動画となりました。



開催概要・実績



1件の詳細

KIF 京都学生祭典実行委員会
実委登録者数 135名

新実行委員募集中

実績数値 ▼

◎本祭当日
YouTube Live視聴回数
10,611回
特設HP 閲覧数
13,337 view

《合計》
YouTube 視聴回数
27,163回
特設HP View数
39,478 view

※10/1~10/31をお祭り開催期間としてカウント
○事前
YouTube 視聴回数:9,842回
特設HP 閲覧数:21,275 view
○事後
YouTube 視聴回数:6,710回
特設HP 閲覧数:4,866 view

新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、第18回京都学生祭典本祭はオンラインにて実施しました。世界中でイベントの中止が相次ぎ、今後、従来の形でのイベント開催ができない可能性があると世間では言われています。そんな中、18年間京都学生祭典が築き上げてきた様々な方との縁を活かし、第18回京都学生祭典が「夢につながり、夢でつながり、夢がつながる」お祭りであるために、新たな形のお祭りを目指し、こんな状況でも、むしろこんな状況だからこそできるお祭りを創ることができました。

オンライン開催だからこそ、例年は参加することのできない全国各地の団体に参加していただき、京都や関西の方だけでなく、日本全国の人々に第18回京都学生祭典オンライン本祭を見て、参加して楽しんでいただきました。

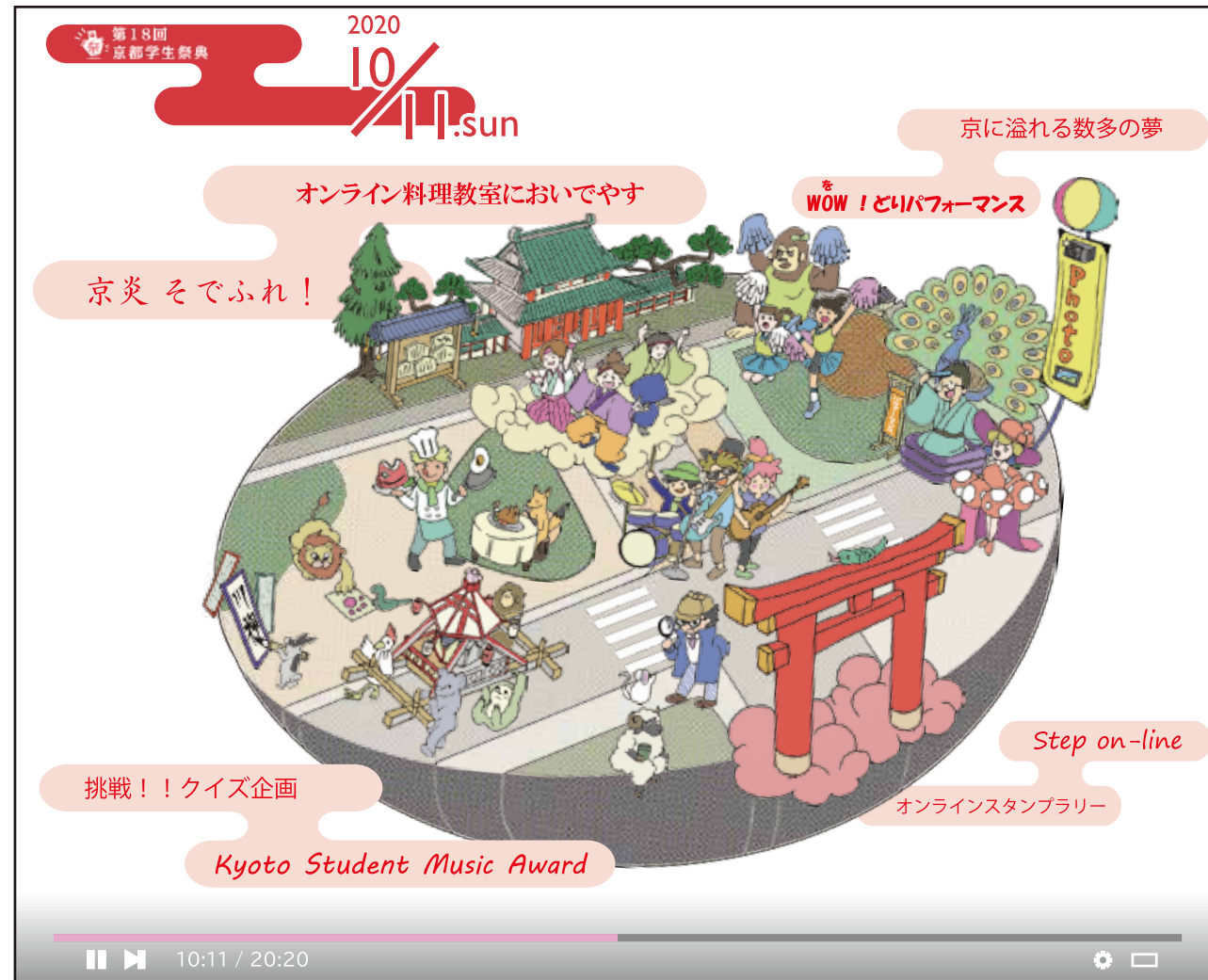
学生の様々なパフォーマンスをお楽しみいただける「視聴型」と、実際に参加して楽しんでいただける「参加型」の2種類の企画を実施しました。

〈視聴型企画〉

本祭当日にYouTube Liveにて「京炎 そでふれ!」の演舞動画や「Kyoto Student Music Award」の演奏動画などを放映しました。また、共催団体の方々から頂戴したご挨拶や協賛企業のCM、日頃からお世話になっているの方々から頂戴した応援メッセージなども放映させていただきました。

〈参加型企画〉

HPで楽しんでいただける謎解きやオンラインで参加できる料理教室など、オンラインで見ただけではなく、実際に参加していただいたり、他の方との繋がりを感じたりできる企画を実施しました。



実施企画一覧



1件の詳細

KIF 京都学生祭典実行委員会
実委登録者数 135名

新実行委員募集中

- P. 19-20 Opening / 京炎 そでふれ!
- P. 21 **WOW! どいパフォーマンス** / 全国制覇! めっちゃええところあるんやで
- P. 22 *Kyoto Student Music Award* / スポットライトラボ
- P. 23 *Step on-line* / オンライン料理教室においてやす
- P. 24 祭典謎解きチャレンジ / わっしょい! みこしクイズ
京に溢れる数多の夢 / オンラインスタンプラリー



Opening



1件の詳細

KIF 京都学生祭典実行委員会
実委登録者数 135名

第18回京都学生祭典オンライン本祭 YouTube LiveのOpeningは多くの方々にご協力いただき、様々な映像で彩られました。

まずは開幕を告げるOpening映像を放映しました。これは立命館大学映像制作サークルGREENSの皆さまに協力していただき作成した、今年の本祭のコンテンツを紹介する映像です。

実行委員長の挨拶は平安神宮をバックにライブ配信いたしました。そして、共催団体の方々から予め頂戴したビデオメッセージを配信しました。多くの方々に支えられ、オール京都のご支援をいただいているからこそ京都学生祭典が成り立っていることを改めて実感できる時間でした。

オンラインでの第18回京都学生祭典本祭のスタートを告げる素晴らしいOpeningとなりました。



京都から全国へ 京炎 そでふれ!^{はな}桜舞台



1件の詳細

KIF 京都学生祭典実行委員会
実委登録者数 135名

今年はコンテンツではなく、YouTube Liveにて演舞動画を放映しました。京炎そでふれ!12のホストチームに加え京炎そでふれ!の子どもチームやOBチームにもご参加いただき、過去の演舞、新しく作成した演舞、リモート合成演舞など、様々な形式の京炎 そでふれ!が視聴者を魅了しました。

また、京炎 そでふれ!12のホストチームのおどり手へのインタビュー動画も作成し、演舞動画の前に放映しました。各チームにZoomでインタビューを行い、普段聞けないおどり手の想いや声、演舞の見どころをお届けすることができました。視聴者の方には、「演舞の見どころを事前に知ることによって演舞をより一層楽しめる」というオンライン開催だからこその楽しみ方をさせていただくことができました。



京炎 そでふれ! スペシャルバージョン



1件の詳細

KIF 京都学生祭典実行委員会
実委登録者数 135名

京炎 そでふれ!12のホストチームのおどり手の中からオーディションで選ばれた精鋭達による京炎 そでふれ!スペシャルバージョンを生放送で披露しました。

曲・振り・衣装のすべてに京都らしさがふんだんに盛り込まれた京炎 そでふれ!。視聴者の方にはオンラインで楽しんでいただく形になりましたが、今年も平安神宮をバックにした迫力ある演舞をご覧いただくことができました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、少人数で振りを変更した演舞となりましたが、少人数だからこそ一人ひとりの動きや表情、衣装に着目できるという今年ならではの魅力がありました。

オンライン開催ならではの特別な演舞は、第18回京都学生祭典本祭のフィナーレを見事に飾ってくれました。



総おどり



1件の詳細

KIF 京都学生祭典実行委員会
実委登録者数 135名

本祭当日に、離れた場所にもたくさんの方がオンラインで繋がっていることを感じられる総おどりを実施しました。

平安神宮にいるおどり手や、ご自宅などからご参加いただいた方々、実行委員OB/OGをはじめ、多くの方々がオンラインで繋がり、同じ時間、同じおどりを共有できました。

YouTube LiveではZoomや平安神宮にいるおどり手のリアルタイムの様子に加え、過去の京炎 そでふれ!の写真・動画も紹介し、配信に合わせておどりを楽しむだけでなく、動画を見ることでも楽しんでいただける企画となりました。



を WOW! どりパフォーマンス



1 件の詳細

京都学生祭典実行委員会
実委登録者数 135 名

WOW! どりパフォーマンスは様々なジャンルのおどりやダンスをお楽しみいただけるコンテストです。全国に参加を呼びかけ、北は北海道、南は沖縄まで全36のダンスチームにご参加いただきました。

本祭特設HPで10月1日からパフォーマンス動画を公開し、10月9日正午時点で視聴者からの「いいね!」を多く獲得した上位8団体に本祭YouTube Liveにご出演いただき、Zoomでのリアルタイムインタビューとパフォーマンス動画の放映を行いました。

オンライン開催となったことで通常開催ではご参加いただくことが叶わない日本各地の団体のパフォーマンスを見ることができ、日本全国の方に京都学生祭典を知っていただくきっかけにもなりました。

結果 ▼

- 優勝 : emyjo kidz crew (271 いいね!)
- 準優勝 : RA★SH (257 いいね!)
- 第3位 : P→SEN (244 いいね!)

〈優勝団体コメント〉
 今年はコロナ禍の中、工夫をこらしてコンテストを開催していただきました事、本当にありがとうございました。
 コロナの流行によって、練習もできない日々が続きましたし、発表の機会が全て失われたため、このコンテストが、私達にとってはとても有り難く、励みになりました。心より感謝申し上げます。
 そして沢山の応援、ご協力、本当にありがとうございました! 沢山の方に支えられて私達がある事を、改めて実感しました。
 関わってくださった、全ての方に、感謝!! またダンスを通して恩返し出来るように、ゼロから頑張ります!
 本当に本当にありがとうございました!



Kyoto Student Music Award

1 件の詳細

京都学生祭典実行委員会
実委登録者数 135 名

Kyoto Student Music Awardは学生を対象とした音楽のコンテストです。今年も、バンドやアカペラ等、様々な音楽ジャンルで活動する学生に出場していただきました。例年はステージにて演奏を行い、審査員による審査で順位が決定します。今年はオンライン開催ということで、各団体の演奏動画を視聴者の方の「いいね!」の数にて順位を決定しました。視聴者の方には、学生の熱い演奏を見るだけではなく、「いいね!」でコンテストに参加していただくことができました。

結果 ▼

- 優勝 : Lala (315 いいね!)
- 準優勝 : ヒゲシカ (105 いいね!)
- 第3位 : 蝶古彩 (67 いいね!)

〈優勝団体コメント〉
 小学生の頃、毎年京都学生祭典に遊びに行っていました。そこでふれでカッコよく舞うお兄さん、キッズコーナーで優しく手を引いてくれるお姉さん…。「いつかこんな大学生になりたい」京都学生祭典は憧れの舞台でした。そんな京都学生祭典のイベントの一つ、Kyoto Student Music Award で優勝でき嬉しい気持ちでいっぱいです。
 今年はオンライン開催で、予測できないトラブル等色々ありましたが、その都度対処してくださったスタッフ様、そしてLalaに投票していただいた皆さま、本当にありがとうございました。



全国制覇! めっちゃええところあるんやで

1 件の詳細

京都学生祭典実行委員会
実委登録者数 135 名

全国各地からご参加いただいたWOW! どりパフォーマンスの団体に各地域の名物や観光地などについて教えていただき、それらをまとめた動画を作成しました。この動画でしか知ることができない、地元の方々がオススメする観光地などが盛りだくさんの動画になりました。



スポットライトラボ



1 件の詳細

京都学生祭典実行委員会
実委登録者数 135 名

スポットライトラボは様々な分野で活躍している団体のパフォーマンスを楽しむことができる企画です。去年はステージにてパフォーマンスを行っていただきましたが、今年ではあらかじめ撮影したパフォーマンス動画を本祭特設HPやYouTube Liveにて紹介、放映しました。書道パフォーマンス・漫才・ヒーローショーと、様々なパフォーマンスを視聴者の方に楽しんでいただくことができました。



「Step on-line」 ～京都学生祭典×服飾団体neuf～



1件の詳細

KIF 京都学生祭典実行委員会
実委登録者数 135名

京都学生祭典と同志社大学服飾団体neufがコラボし作成した動画作品です。

「Step on-line」には、“Step on”の前に突き進んでいくという意味と“オンライン”という意味が込められています。新型コロナウイルスの影響で友達や大切な人と会うことも困難になってしまった今、オンラインだからこそ、繋がりを大切に、これからの未来を歩んでいこうという想いで制作しました。

衣装は細部まで丁寧に作り込まれており、neufの皆さまの想いやこだわりがたくさん詰まった世界にたった一つの作品です。

衣装はもちろん、演出やモデルの表情からも人と人とが繋がることのすばらしさ、うれしさを感じていただくことができました。

その他の企画



祭典謎解きチャレンジ

KIF 京都学生祭典実行委員会
実委登録者数 135名

「謎の男の正体を知るために京都の地を巡る」というストーリー仕立ての謎解きを作成し、本祭特設HPにて多くの方に楽しんでいただきました。謎が解けるごとに京都に関するマメ知識を紹介し、学びながら楽しむことのできる謎解きとなりました。

謎をすべて解くことができた方の中から、抽選で「京都学生祭典オリジナルQUOカード」を景品としてお送りしました。

多くの方に挑戦していただき、好評の声をたくさんいただきました。



わっしょい！みこしクイズ

KIF 京都学生祭典実行委員会
実委登録者数 135名

「わっしょい！みこしクイズ」は、誰も一度は目にしたことがあるみこしをもっと身近なものに感じていただけるクイズを作成し、本祭特設HPにて多くの方に楽しんでいただくことができました。

クイズを通して普段は知ることのないみこしの枝や装飾、さらには京都学生祭典オリジナルのみこし「京炎みこし」についてもたくさんの方に知っていただくことができました。



オンライン料理教室においでやす



1件の詳細

KIF 京都学生祭典実行委員会
実委登録者数 135名

コロナ禍で自炊をする機会が増え、料理の腕前を上げたい方などを対象に、Zoomでプロの料理人による料理教室を行いました。

京都の老舗料亭「山ばな 平八茶屋」の園部晋吾様を講師としてお招きし、和食三品「筑前煮」、「サーモンのつけ焼き」、「けんちん汁」のレシピを教えてくださいました。

参加者の方々には、自宅などからZoomで参加していただいたため、通常開催では本祭に参加できなかった方にも参加していただくことができ、オンラインならではの企画となりました。

講師の方が調理方法を説明し、参加者は気になることをリアルタイムで質問するなど「コミュニケーションを気軽にとれる料理教室」として実施しました。参加者と講師の方の間で活発にコミュニケーションが取られ、オンラインでも料理教室を楽しみ繋がりを感じていただくことができました。



京に溢れる数多の夢

KIF 京都学生祭典実行委員会
実委登録者数 135名

第18回京都学生祭典のテーマである「^{ゆか}夢、縁る。」にちなみ、多くの人の多種多様な夢や願い事を紹介する動画を作成しました。動画の最後には、多くの夢や願い事で、平安神宮の大鳥居と今年のテーマが浮かび上がるモザイクアートを描きました。

多くの人にとってこの動画が、自分の夢の可能性を追求・発信し、さらに他者の夢にも触れて、元気や勇気をもらうきっかけになりました。



オンラインスタンプラリー

KIF 京都学生祭典実行委員会
実委登録者数 135名

本祭当日にオンラインでスタンプラリーを実施しました。本祭YouTube Liveや本祭特設HPの記事など、様々な場所でキーワードを発表し、すべてのキーワードを集めた方に「祭典オリジナル壁紙」、さらに抽選で「京都学生祭典オリジナルQUOカード」などをプレゼントしました。

多くの方々に、より多くのコンテンツを楽しんでいただくきっかけとなりました。



KIF

出演 団体



京炎 そでふれ！葵和



京炎 そでふれ！ Tacchi



縁志



絆百祭



秘密結社 Launch



Dance 戦隊舞 LA★くる



S.D.C. team black



お笑いサークル SHOWCASE



京炎 そでふれ！おどりつつ



京炎 そでふれ！花風姿



鹿児島国際大学
よさこい部 創生児



岐阜大学 騒屋



佛教大学よさこいサークル
紫踊屋



DASH★



WILDSTYLE



同志社大学書道部



京炎 そでふれ！華羅紅



京炎 そでふれ！文舞蘭



鹿児島大学
よさこいサークル隼人



紫陽花～しょうか～



舞動



emyjo kidz crew



竹丸



Geidai Action Team



京炎 そでふれ！京小町



京炎 そでふれ！輪舞曲



風魅彩



スターダスト河内



よさこいダンスサークル
東海大学響



gem★stone



蝶古彩



同志社大学
服飾サークルneuf



京炎 そでふれ！京躍華



京炎 そでふれ！大宮炎龍舞連



嘉人恋



ソフトバンクよさこい部



よさ朗



miniSEN



ヒゲシカ



京炎 そでふれ！彩京前線



倭音 -yamato-



煌星



チーム☆利彘蔵



立命館大学
創作ダンスサークル collash



P→SEN



Hachico



京炎 そでふれ！咲産華



愛知淑徳大学 鳴踊



夏舞徒



函館躍魂いさり火



琉球風車



PB quest



kokage



京炎 そでふれ！志舞踊



朝霞 若櫛



関東どまつりチーム 轟



函館学生連合～息吹～



Catch★



RA★SH



Lala

広報活動

公式 HP リニューアル

2020年3月に京都学生祭典公式HPをリニューアルオープンしました。サイトマップを見直すことで情報の掲載場所が分かりやすくなったことはもちろん、鮮やかな写真を多く採用し、内容や文章が伝わりやすいものであるかをすべて一から確認し、見ていただく方を第一に考え、細部にまでこだわった公式HPとなりました。企画の準備段階から本祭直前まで、1年間を通してその時々に必要な情報を的確に発信してきました。またニュースやレポート記事の更新も続け、1年間絶やすことなく運用を続けて参りました。



▲リニューアル後のHP ▲リニューアル前のHP

各種 SNS の活用

今年は例年以上に各種SNSでの広報に力を入れて参りました。投稿数の増加はもちろん、ただ投稿数を増やすだけではなく、各種SNSや公式HPのアナリティクス機能を使用し、どのような投稿であればたくさんの方に見ていただけるのか、高い広報効果があるのかを分析し、分析結果に基づいた投稿を続けて参りました。



各種公式 SNS

Twitter @KIF_saiten Instagram @kif_saiten
Facebook @kif.saiten YouTube 【公式】京都学生祭典

WEB 広告展開

第18回京都学生祭典オンライン本祭の開催に向け、より一層WEB上での広報活動を強化しました。GoogleやYahoo!などの検索エンジンで趣味嗜好に合わせた多くの人に届けられるリスティング広告や、京都学生祭典で所有するSNSで最もフォロワーが多く即時性の高いTwitterのプロモツイート、若者の利用者が多く主なターゲットとなる学生へ効果的にアプローチできるInstagramでのストーリー広告、動画でのインパクトも残せるYouTubeにおけるTrueView広告など、様々な媒体を用いて各ターゲットごとに効果的なWEB広告を展開しました。



メインビジュアル募集

2020年1月8日から3月3日の期間で第18回京都学生祭典を象徴する「メインビジュアル」を募集しました。東京や北海道など、京都に限らず全国各地の学生から28作品のご応募をいただきました。実行委員会にて4作品まで絞り、各種SNSでの投票の結果、のべ1,199票の中から同志社大学3回生の尾野紗季さんの作品をメインビジュアルとして決定しました。この作品をデザインの中心として様々な広報を展開し、より多くの方に京都学生祭典の名前や開催日の告知を行うことができました。



▲メインビジュアルに選ばれた作品(右)と最終投票まで残った3作品(上)

メディア掲載実績

日付	メディア名	掲載内容
4月1日	産経新聞	新型コロナウイルス感染症対策の呼びかけ
4月2日	京都新聞	新型コロナウイルス感染症対策の呼びかけ
9月19日	日本経済新聞	おうち時間川柳について
10月6日	京都新聞	新型コロナウイルス感染症対策の呼びかけ
	朝日新聞	新型コロナウイルス感染症対策の呼びかけ
10月11日	京都新聞	第18回京都学生祭典オンライン本祭
1月25日	Yahoo! ニュース	映画『嘘八百 京町ロワイヤル』プロモーションに 関わる京炎 そでふれ! おどり披露
1月28日	びあ関西版	映画『嘘八百 京町ロワイヤル』プロモーションに 関わる京炎 そでふれ! おどり披露
	日刊スポーツ	映画『嘘八百 京町ロワイヤル』プロモーションに 関わる京炎 そでふれ! おどり披露
4月1日	NHK WEB ニュース	新型コロナウイルス感染症対策の呼びかけ
4月2日	Yahoo! ニュース	新型コロナウイルス感染症対策の呼びかけ
4月1日	読売テレビ	関西情報 net ten.
10月7日	J:COM 京都みやびじょん	ジモト応援! 京都つながる News
8月号	きょうと市民しんぶん	文化庁京都移転推進に関する記事
10月号	きょうと市民しんぶん	第18回京都学生祭典オンライン開催について
10月号	きょうと府民だより	新型コロナウイルス感染症対策の呼びかけ

制作物一覧

オール京都での取り組み

京都学生祭典は産・学・公・地域の皆さまと連携し、オール京都のご支援のもと活動しています。
第18回京都学生祭典においても、たくさんの方々とのご縁のおかげさまで充実した取り組みを展開することができました。

研修の開催

京都学生祭典の創設時より京都学生祭典企画検討委員長として携わってくださっている木村光博様に、実行委員向けに研修をしていただきました。京都学生祭典の歴史を創設期から振り返り、私たちも知らない過去のエピソードをお話してくださいました。京都学生祭典の強み・課題は何か、過去を振り返りながら考える良い機会となりました。

また、京都学生祭典の事務局構成員の方に「良い会議とは何か」というテーマのもと、Zoomを使用して研修を実施していただきました。これまで会議の進行に苦戦していた実行委員も研修後には次の会議が楽しみになるほど、充実した研修の時間となりました。

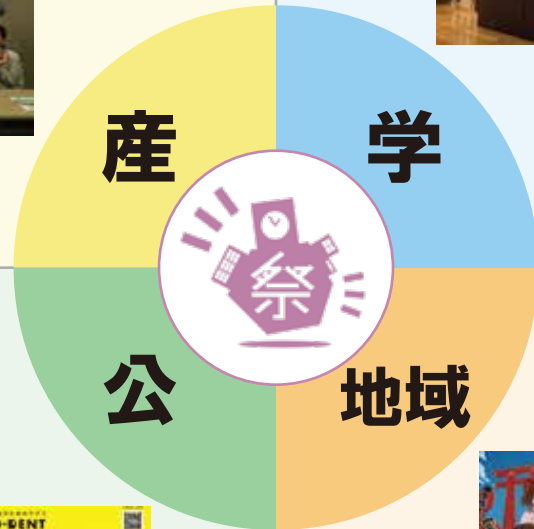


広報面での協力

多数の実行委員が大学コンソーシアム京都に加盟する大学の学生であり、多くの大学が学内での京都学生祭典の広報活動にご協力くださっています。チラシやポスターなどの配架だけでなく、学内サイトやメールでの広報にもご協力いただきました。

企画面での協力

本祭当日のオンライン料理教室の企画で京都女子大学栄養クリニックを会場としてお貸しいただくなど、多くの企画の実施において様々な面からご支援・ご協力をいただいております。



様々な広報

京都市広報板へのポスター掲示、関係施設へのチラシ送付など、広報活動にもご協力いただいております。

また、学生に向けた新型コロナウイルス感染防止対策の呼びかけを京都市知事とともに行いました。

学生のまち・京都の推進

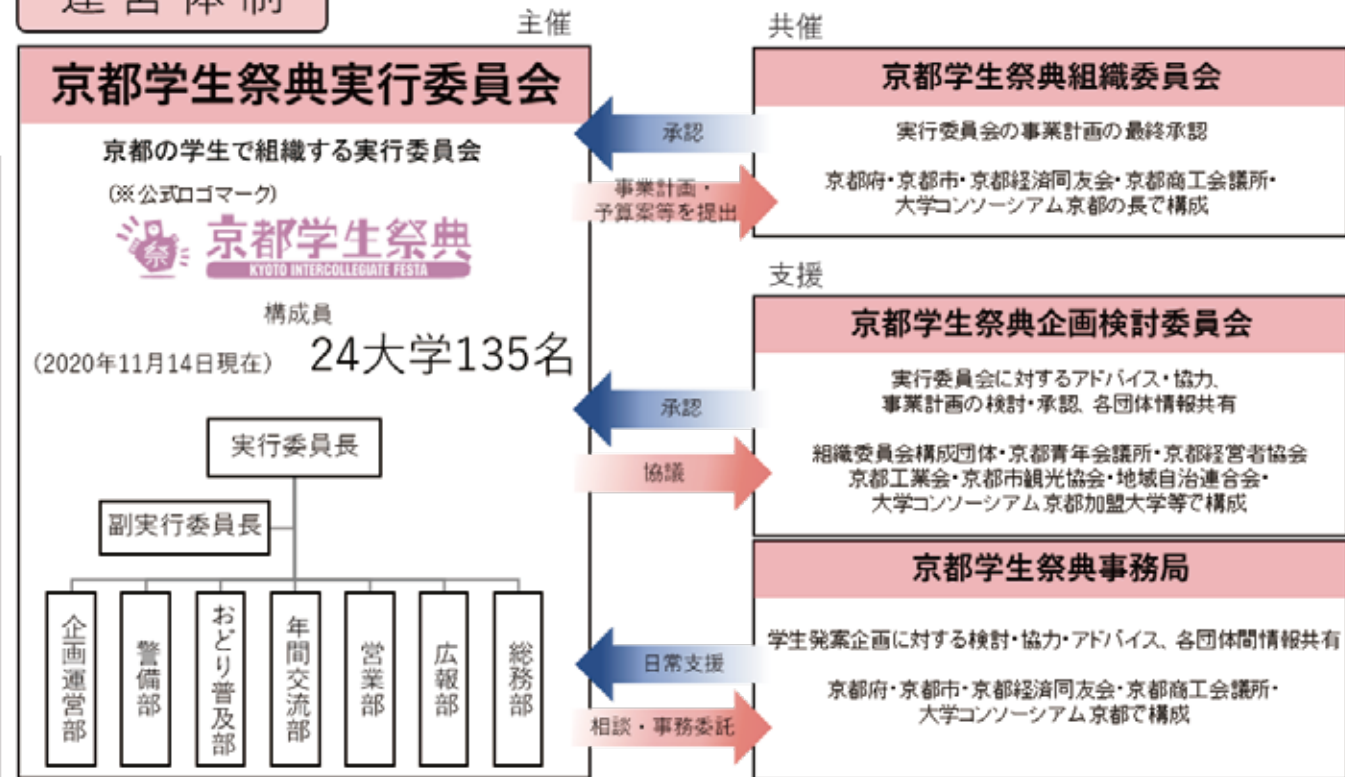
令和2年3月に配信された「大学のまち京都・学生のまち京都」公式アプリKYO-DENTの学生プロジェクトチームの一員として開発に携わるなど、学生のまち・京都の魅力発信を協力して行っています。

地域の活性化

活動の自粛により地域交流活動が減少した中でも、地域の人々が祭典を通しておうち時間を楽しむことのできるチラシを作成しました。第18回京都学生祭典オンライン本祭の広報に加え、クロスワードや塗り絵といった家族で楽しめるチラシとなりました。さらに、日頃よりお世話になっている地域の夏祭りを紹介するチラシを作成したことで、地元の方も改めて地域の夏祭りの由来を知ることができたというお声をいただくことができました。



運営体制



各部署の役割

- 企画運営部：京都学生祭典本祭を彩る企画の立案・運営を行う部署。
- 警備部：京都学生祭典本祭やプレイベントで誘導・警備を行い、来場者・出演者・実行委員の安全を守る部署。
- おどり普及部：京炎 そでふれ！を通して京都学生祭典を盛り上げる部署。
- 年間交流部：地域の方々や留学生との交流を通じて京都学生祭典を広める部署。
- 営業部：京都学生祭典を支えてくださる企業様や個人サポーターの方へ協賛を募り、連携を取る部署。
- 広報部：京都学生祭典をより多くの方に広めるため、チラシ作成やSNS投稿などの広報活動を行う部署。
- 総務部：備品の管理や研修会の実施など実行委員の活動をより良いものにする部署。

大学コンソーシアム京都加盟大学一覧

国立大学：京都大学	京都経済短期大学	嵯峨美術短期大学
京都教育大学	京都芸術大学	種智院大学
京都工芸繊維大学	京都光華女子大学	成安造形大学
公立大学：京都市立芸術大学	京都光華女子大学短期大学部	同志社大学
京都府立大学	京都産業大学	同志社女子大学
京都府立医科大学	京都女子大学	花園大学
福知山公立大学	京都精華大学	佛教大学
私立大学・短期大学：池坊短期大学	京都西山短期大学	平安女学院大学
大谷大学	京都先端科学大学	平安女学院大学短期大学部
大谷大学短期大学部	京都橘大学	明治国際医療大学
京都医療科学大学	京都ノートルダム女子大学	立命館大学
京都外国語大学	京都美術工芸大学	龍谷大学
京都外国語短期大学	京都文教大学	龍谷大学短期大学部
京都華頂大学	京都文教短期大学	大阪医科大学
華頂短期大学	京都薬科大学	京都情報大学院大学
京都看護大学	嵯峨美術大学	放送大学 京都学習センター

実行委員名簿

【実行委員長】

川端 悠輔

【副実行委員長】

金田 玲奈
共田 桃菜
正覚 裕輔

【企画運営部】

★佐々木 康助	小林 知華
浅井 智奈美	佐々木 悠花
家原 里彩	佐藤 愛唯
池田 幸之介	田井東 紗来
石坪 桃歌	高橋 良徳
泉 奈樹	谷本 若菜
井上 優菜	堤 梨花
上田 菜々子	中川 湧斗
遠藤 歩	沼田 明夢
大住 翔平	林田 美緒
大槻 砂央理	前川 智寧
岡本 直輝	俣野 千恵子
小野川 佳恩	松延 瑠
梶川 桃香	村上 瑠南
片山 鈴穂	森本 紀里佳
金森 紗羽	森本 雛子
兼松 美友	山上 奈穂
川島 華月	山下 結衣
小出 望葵	山本 奈津実
小林 愛美	和田 桃佳

【年間交流部】

★詫間 捷史
柏原 千夏
北川 あいり
木村 颯太
酒井 悠里
佐藤 里咲
砥山 陽旭
速田 朱里
土方 誠也
廣嶋 初音
福島 惇矢
本田 左京
前野 彩実
室井 萌花

【おどり普及部】

★竹内 詠茉
泉 優梨
乾 真子
伊山 結貴
大堀 航暉
奥田 稜平
河井 宗二
鬼頭 仁菜
新山 姫菜
武士 寧々
田中 惟心
西川 明李
濱中 拓実
藤田 菜美

【警備部】

★河上 千奈美
五十畑 優花
長田 亮吾
北澤 翔吾
北村 奈子
黒田 柚香
高岡 建成
高木 花帆
高島 さき
内匠屋 龍人
竹原 菜月
濱名 かのん
三宅 雄大
山口 隼人
山崎 啓介

正木 雄大
森川 駿
八百幸 葵
安原 理子
山中 来未
吉田 早希

【広報部】

★中川 かれん
秋山 蒼
市村 綾野
大森 友梨子
九城 乃永
小城 智萌
越野 泰介
白山 龍太郎
田中 葵
中西 佐綺
西田 詩織
能勢 菜月
久田 晴貴
松野 葉
山尾 弘大
山崎 涼平

【総務部】

★永井 千尋
青山 光一郎
岩谷 有希子
大淵 瑠菜
小田 明日香
長原 由伊
中山 愛恵
葉山 凱
平田 瑞季
福間 慧
松田 優香
八阪 優樹
山下 知紗
山本 祐也

【営業部】

★加藤 はるか
荒木 仁奈
小嶋 あかり
今田 瑞穂
阪本 明日香
佐々木 彩乃
篠原 日菜子
都築 けい
中田 峻輔
山崎 ちひろ

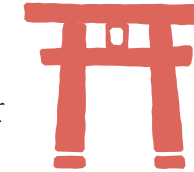
【機動化プロジェクト】

勝俣 宝来
吉川 瑠哉

★…部長

実行委員インタビュー

Q 第18回京都学生祭典で頑張ったこと・苦勞したことは？



Q 第19回京都学生祭典に向けて

A 今年はオンラインでの開催でしたので、どうすれば今まで通りまたそれ以上の感動と楽しさを視聴者に感じてもらえるかということに悩みました。沢山の意見を聞いたり、客観的に見て考えたり何度も企画案を考え直すことが大変でした。業者の方にもお手伝いしていただくため、私達がしたいことを伝え連携を取ることが大変でした。ですが想以上のものが出来上がり、達成感はとても大きかったです。



A 第18回は無事成功し終えることができました。ですが、沢山の反省点と課題が浮かび上がりました。また、業者の方に協力していただいたおかげで私達では考えられなかった案もたくさん浮かび上がりました。これらをきっかけに、第19回目の京都学生祭典では今からすべきことは何かを考え、今回の本祭で学んだ知識を生かし、より一層新しいものを第19回で創り上げたいです。

企画運営部 沼田 明夢 平安女学院大学2回生

A 制限のかかった状況下で、人事担当として新実行委員募集のオンライン活動をしてきましたが動画撮影やインスタライブなど新たに挑戦することが多く、大変だと感じました。本祭当日は規模や形態・目的も例年とは違いましたが警備部として、実行委員・出演者・業者・一般の方など会場全体の様子を把握し、大きなトラブルが起こることなく本祭を終えることができました。



A 今までにない状況となり、今後人手がさらに必要となるので、新実行委員の募集に力を入れていきます。感染症の影響は来年まで続くかもしれませんが、これまでの経験を活かしながら祭典を知っていただきたいです。第19回こそは一日中走りまわって疲れるほど広い会場で警備をしたいので、これを目標に活動していきます。

警備部 濱名 かのん 佛教大学2回生

A 統括という役割をもらい心掛けていたことは、余裕を持って仕事を部員に振り分けることです。各々サークル以外にも用事があると思うので、余裕を持って仕事を振り分けることで作業に取り掛かる時間の計画ができると思ったからです。また苦勞したことは、どうしても仕事内容をわかりやすく伝えることができるのかを考えたのが難しかったです。



A 第19回は、第18回よりも京都学生祭典を多くの方に知っていただけるように、広報活動を全力で頑張りたいです！

広報部 中西 佐綺 京都ノートルダム女子大学2回生

A 私が所属する営業部は企業の方と直接やりとりをする中で電話やメールを頻繁に使いますが、普段何気なく使うツールでも気をつけなければならないことがたくさんあって驚きました。今年はコロナウイルスの影響であまり経験を積むことができませんでしたが、来年は先輩方の力になれるように頑張りたいです。



A 今年はオンラインで本祭が開催されたので、本来の本祭をみる事ができていません。私はそでふれを生で見たことがないので、来年の本祭では生で見て迫力を感じたいです。また、今年よりも多くの協賛金を集めるために、京都学生祭典の魅力をアピールしていきたいと思っています。

営業部 今田 瑞穂 京都府立大学1回生

A 統括として夏祭りの企画や実行委員同士の交流企画を担当することです。年間交流部の部員と思うように対面できない中、ZoomやSNSを通しての会議ややりとりは大変な部分もありましたが、年間交流部の皆さんと共有した時間は私にとって、とても大切な思い出になっています。結果的に、夏祭りはコロナの影響で開催できませんでした。チャランを通じた交流企画は無事実施することができ、大好評を頂けたので大変嬉しかったです。



A 今年は多くのイベントが思うように開催できなかったのですが、来年は例年以上にイベントを盛り上げていきたいです。また先輩方が作り上げてくださった年間交流部の居心地の良さや温かい雰囲気大切にしていきたいです。

年間交流部 前野 彩実 京都工芸繊維大学1回生

A この例年ない「オンラインで行う祭典」で私が努力したのは人との連携です。重要な時期の会議などが全てZoomで行われたことに不便さを感じました。またそれによって十分な連携が取れない可能性があったのでこまめな連絡や共有内容を何度も確認することを怠らなかったと思います。またそういった面で苦勞もしました。



A 第19回の実行委員は「例年通りの祭典」というものを経験したことがない人ばかりだと思います。第18回では雨天案だったりオンラインだったり色々苦勞もしました。しかし裏を返せばそれだけ経験をしたとも言えます。その経験ををうまく活用して意識を高めていこうと思います。

おどり普及部 田中 惟心 立命館大学2回生

A 第18回京都学生祭典では、新歓活動を中心に活動してきました。本祭当日には新入生向けの質問コーナーに携わり、各質問に対してどれくらい内容を話せば良いのかわからず初めは苦勞しましたが、仲間を増やして19回を盛り上げたいと思い京都学生祭典に在籍する中で私が感じたことを素直にお話できるよう頑張りました。



A 部署内では唯一第18回京都学生祭典を経験した2回生となります。第18回の経験を大切に、先輩の指示をよく聞いて自分から行動していきたいと思っています。

総務部 長原 由伊 京都女子大学1回生

所属大学一覧

京都大学	7人	京都外国語大学	1人	京都先端科学大学	10人	同志社大学	5人
京都工芸繊維大学	3人	京都華頂大学	4人	京都橘大学	1人	同志社女子大学	7人
京都府立大学	2人	京都光華女子大学	6人	京都ノートルダム女子大学	3人	佛教大学	3人
福知山公立大学	1人	京都産業大学	11人	京都美術工芸大学	2人	平安女学院大学	8人
大谷大学	1人	京都女子大学	29人	京都文教大学	7人	立命館大学	18人
京都医療科学大学	2人	京都精華大学	1人	種智院大学	1人	龍谷大学	2人

協賛企業一覧

スペシャルパートナー
ローム株式会社

KYO-SENSE パートナー
株式会社 GS ユアサ

オフィシャルパートナー
株式会社キャリアパワー
月桂冠株式会社
株式会社長栄
ニチコン株式会社
株式会社堀場製作所
村田機械株式会社

パートナー
京都信用金庫
タキイ種苗株式会社
株式会社たけびし
株式会社ワコール

サポーター

株式会社インダ
大槻工業株式会社
株式会社京都銀行
京都中央信用金庫
株式会社公益社
株式会社ディレクターズ・ユニブ

株式会社あおぞら印刷
有限会社アトリエニライ
安藤不動産株式会社
詠而帰コンサルティング
株式会社おいかぜ
オムロン株式会社
株式会社北原旅館こうろ
京都ステーションセンター株式会社
近建ビル管理株式会社
株式会社末松工務店
株式会社デ・リード
日本教育旅行株式会社
柊家株式会社
株式会社堀場エステック
みやこ薬局株式会社
村山造酢株式会社
ヤマト運輸株式会社
リコージャパン株式会社
株式会社ローバー都市建築事務所
株式会社ワタナベ美装

物品協賛

株式会社伊藤軒
上羽絵惣株式会社
エステーワイ株式会社
(京都ぎょくろのごえん茶)
小澤清風園
株式会社菓匠清閑院
富坂綜織店
西陣織会館
株式会社福寿園
株式会社ロマンライフ

個人サポーター一覧

秋山 千賀子
尾野 実菜子
金山 大輔
鴨下 二美
京都医療科学大学 山口 佳紀
京都市総合企画局総合政策室一同
京都女子大学 上野 桜
京都女子大学 太田 友子
京都女子大学 岡田 愛
京都女子大学 岡本 久代
京都女子大学 檉村 健一
京都女子大学 吉川 大栄
京都女子大学 経営企画・広報室
京都女子大学 姑射 博章
京都女子大学 坂口 満宏
京都女子大学 鈴木 康浩

京都女子大学 瀬尾 浩
京都女子大学 高橋 茉穂
京都女子大学 武田 真代子
京都女子大学 森岡 大樹
京都女子大学 吉川 直人
京の三条まちづくり協議会
小出 訓
澤邊 吉信
篠原 奈都子
芝原 正記 喬子
高橋 健二
中田 健作
檜崎 健一
西川 明李
西村法律事務所 西村 幸三
西村 祐一

野中 隆宏
福島 宏
藤田 卓也
堀田 幸平
正覚 健治
俣野 小百合
松村 宗一
馬屋原 宏
向島 翔也
梁瀬 晋也
山田 聡司
渡部 友一郎
他 26 名

本年も多くの皆さまからの多大なるご支援・ご協力のもと、
京都学生祭典を開催することができました。
ここに厚く御礼申し上げます。



新型コロナウイルス感染症の影響により、
なかなか思うように活動ができない状況が続きましたが、
史上初のオンラインという形式で
第 18 回京都学生祭典を開催することができました。

これもひとえにご支援・ご協力賜りました皆さまのお力添えの
おかげだと考えております。

絶やすことなく次世代へと学生の創るお祭りを
繋いでいくことができたこと、大変嬉しく感じております。

関わってくださった皆さまに、心より感謝を込めて。

第 18 回京都学生祭典実行委員会